

健康福祉サービス第三者評価結果 公表 共通様式

1 事業者情報

福祉サービスの種別	障害
事業所名	社会福祉法人たかしま会 藤美寮
代表者氏名（管理者）	杉原 清美
法人名	社会福祉法人 たかしま会
定員（利用人数）	施設入所支援46名、生活介護50名、短期入所6名、 日中一時支援
施設・事業所所在地	滋賀県高島市マキノ町西浜1415番地
T E L	0740-28-1128
F A X	0740-28-0075
電子メール	fujimiryou@leto.eonet.ne.jp
ホームページアドレス	<a href="http://takashimakai.or.jp/publics/index/21/">http://takashimakai.or.jp/publics/index/21/</a>

2 第三者評価機関

第三者評価機関名	公益社団法人 滋賀県社会福祉士会
評価実施期間	2022年（令和4年）3月31日

### 3 評価の概要

#### ○ 総合評価

社会福祉法人たかしま会は地域からの強い要望を受け、昭和44年に設立され社会福祉事業を開始しました。近江聖人中江藤樹の教えを理念とし、高島地域の福祉の向上・発展に大きく貢献しています。藤美寮は昭和53年に精神薄弱者入所更生施設として開設されました。平成19年、障害者自立支援法による新体系に移行し、現在、障害者支援施設として、生活介護、施設入所支援、短期入所、日中一時支援事業を行っています。平成23年には養護老人ホーム藤波園との合築施設が完成し、相乗効果を発揮して事業展開を図っています。たかしま会には藤美寮、藤波園のほかにも「藤」の字を冠する事業所を擁し、理念の体現に努めています。

高島地域は地域全体で福祉に対する意識が高く、中江藤樹の教えは江戸時代初期から現在に至るまで、地域の人々に脈々と受け継がれ、深く浸透し根付いています。たかしま会はその先頭に立つ中核的存在で、藤美寮はたかしま会の旗艦施設として法人全体を牽引しています。さらに藤美寮には、全国的にも珍しい施設の歌「藤美寮の歌」があり、先人から託された思いが歌い継がれています。

藤美寮は平成29年に続き、二回目の第三者評価の受審となります。前回の調査で評価されたことは継続されており、また改善を求められた点は改められています。令和元年の法人設立50周年を契機に策定された中期経営計画に取り組み、毎年自己評価を行い、定期的に第三者評価を受審する事が藤美寮の事業運営のブラッシュアップにつながっています。

#### ○ 特に評価の高い点

##### ・ 安定した事業所運営

藤美寮はコロナ禍にあっても、令和元年度より3期連続増収を計上しています。令和4年度以降の財政計画においても十分な予算が配分されており、たかしま会全事業所の中でも群を抜いた増収を予定しています。新規利用者の確保、生活介護定員の増加を図り、新たな利用者の開拓にも余念がありません。新規事業を計画する一方、地域に密着した「行こカー」事業を行うなど、旗艦施設としての役割を十分果たしています。

##### ・ 充実した個別支援の実施

藤美寮は職員同士で何でも話し合え、意見を言い易く、認め合える風土があり、チームワークの取れた職場です。部屋のレイアウト、テレビの設置方法、スイッチの位置、ポスターの貼り方など、小さな工夫を積み上げています。チームワークの良さは働き易さを感じ、高い満足感となり、それが充実した個別支援を行える体制へと繋がっています。職員に笑顔がなければ利用者を笑顔にすることはできません。藤美寮では目標通り、多くの笑顔を利用者

から引き出せています。

#### ・ 権利擁護への充実した取り組み

藤美寮では利用者に対する権利擁護意識の向上、専門的知識や技能の習得に努めています。事業所内での勉強会、外部研修への参加、コンサルタントを招いての研修等を行い、職員セルフチェックリストを活用し、人権意識を持続できるよう努めています。また利用者の担当は一人制からチーム制に切り替え、職員の負担を減らしています。虐待防止委員会はしっかりと機能しており、不適切な支援や虐待の目の疑いを摘み取っています。

#### ・ 共生社会を見据えた取り組み

法人本部と連携し、地域貢献事業「行こカー」サービスを行っています。地域と市内中心部を結び、地域に住む高齢者の買い物等の支援を行っています。利用者の声を聞きリニューアルを行い、更に便利な足となりました。ほかにも地域向けの陶芸教室の開催、地域からの依頼により利用者も参加しての草刈りなど、地域に対する公益的な取り組みを行い、地域課題に対し積極的に取り組んでいます。

#### ・ 事業所による厨房業務の運営

厨房業務は経費面の事を考えると外部委託した方が安価で、事実多くの法人が外部委託している中、藤美寮では事業所で厨房業務を運営しています。事業所が運営を行うことにより、栄養士と調理員との連携は緊密に行われ、食事に関する支援には細かな対応が即座に行えています。厨房職員も藤美寮の職員であり、食事支援に関する事業所の意思は容易に反映させる事ができます。

### ○ 改善を求められる点

#### ・ 法人理念の周知、徹底

たかしま会は近江聖人、中江藤樹の教えを理念とする県内唯一の社会福祉法人であり、職員は崇高な理念にもっと自信と誇りを持つことが大切です。利用者及び利用者家族にも理念の尊さにもっと理解を深めてもらう事が必要で、地域住民に広めることも大切です。中でも「致良知」「五事を正す」の教えには今以上に理解を深め、日々実践することが藤美寮の存在意義を更に高めることにつながります。

#### ・ 利用者の高齢化への対応

障害者の高齢化が進んでいる中、藤美寮の利用者も例外ではなく、現行の処遇では近々に対応できなくなることが予想されます。2025年問題と言われるように、団塊の世代が後期高

齢者となる時代が迫っています。現行の組織体制にこだわらず、専門部署により情報収集、調査、研究を行い、訪れる事態に備え障害福祉、高齢者福祉両方にまたがる支援方法を構築し、確立させておくことが急務です。

#### ・情報発信の強化

これまで藤美寮の最大の情報発信の場は、毎年行われていた「ふじみ寮祭り」でしたが、コロナ禍により中断が続き、情報発信の場が失われています。今後の見通しも立たない中、新たな情報発信の方法が求められます。機関紙「ふじみ」の更なる充実、ホームページのリニューアルのほか、積極的な広報活動が必要です。保護者からは、生活の様子を定期的に報告してほしいとの要望もありました。地域と密接な関係を築いている藤美寮の情報を多くの人に知ってもらうことが大切です。

#### 4 第三者評価結果に対する事業者のコメント

受審にあたっては、新型コロナウイルス感染症の影響により、外部の来訪を控えていた時期で、活動の様子や利用者への直接の聞き取り等については実施できず残念でしたが、こうした制約の中にもかかわらず、しっかりと評価をしていただきました。また、ご家族様にもアンケート等でご協力をいただきありがとうございました。

今回の評価結果を受け、評価の高い点は、更に継続して取り組み、ご指摘いただいた改善点は真摯に受け止め、法人理念の理解を更に深めながら、経営計画に掲げる老人福祉施設と障害福祉施設の併設の強みを活かし、超高齢社会に対応できるよう努めてまいります。

また、今後も入所施設の役割である、利用者や地域で暮らす方一人ひとりの豊かな生活の実現に向けて、関係機関と連携をしながら事業を展開していきます。

#### 5 評価項目毎の評価結果

( 別 添 )